

世田谷区立教育支援センター
第三者評価業務委託
報告書

2021年8月31日

総合システム研究所株式会社

目次

I.目的	1
II.調査分析・評価の方法	1
1.対象施設	1
2.利用者アンケートによる調査・分析	1
3.第三者評価による分析・評価	2
(1) 評価項目	2
(2) 評価の実施	3
III.アンケート調査結果	4
1.城山 アンケート調査結果	4
(1) 城山【通室生】	4
(2) 城山【保護者】	7
2.尾山台 アンケート調査結果	11
(1) 尾山台【通室生】	11
(2) 尾山台【保護者】	13
3.希望丘 アンケート調査結果	16
(1) 希望丘【通室生】	16
(2) 希望丘【保護者】	19
4.アンケート集計結果の総括	24
(1) 通室生	24
(2) 保護者	27
IV.評価結果	32
1.評価結果の一覧	32
2.評価の詳細	35
V.分析・第三者評価結果の総括	46
1.全体の総評	46
(1) 評価対象Ⅰ 施設運営の基本方針と組織	46
(2) 評価対象Ⅱ 組織の運営管理	46
(3) 評価対象Ⅲ 適切な支援の実施	47
(4) A 活動に関する事項	48
2.行政コスト	49
3.業務委託による民間運営の効果	50

I.目的

世田谷区立教育支援センター（以下「ほっとスクール」という。）の運営体制を検討するにあたり、区職員が運営するほっとスクール「城山」及びほっとスクール「尾山台」（以下、それぞれ「城山」「尾山台」という。）と、民間企業への業務委託により運営するほっとスクール「希望丘」（以下、「希望丘」という。）に対して、客観的な分析と評価による検証を行うことを目的とする。

II.調査分析・評価の方法

1. 対象施設

下記のそれぞれの施設について、通室生（児童・生徒）及び保護者へのアンケート調査を行い、その結果を踏まえて第三者評価機関による訪問調査を実施し、総合的に評価を行った。

	城山	尾山台	希望丘
所在地	世田谷区豪徳寺2-10-9	世田谷区尾山台3-19-3	世田谷区船橋6-25-1
最寄り駅	東急世田谷線「宮の坂」駅徒歩5分 東急世田谷線「上町」駅徒歩10分 小田急線「豪徳寺」駅徒歩15分 東急・小田急バス「上町」徒歩10分	東急大井町線「尾山台」駅徒歩5分 東急バス「東京都市大北入口」徒歩5分	京王・小田急バス「朝日新聞社前」徒歩2分 京王線「八幡山駅」徒歩20分 小田急線「千歳船橋」駅徒歩20分
定員	25名程度	10名程度	50名程度
スタッフの数 ※訪問調査日時点	教育支援嘱託員1名 指導員5名	教育支援嘱託員1名 指導員4名	事業責任者（施設責任者）1名 常勤職員5名 非常勤スタッフ3名

2. 利用者アンケートによる調査・分析

各ほっとスクールの通室生（児童・生徒）及びその保護者に対し、施設の運営に対するアンケート調査を実施した。アンケート用紙は通室生用と保護者用を作成し、配布及び回収は郵送で行った。

アンケートの配布及び回収期間は、令和3年5月28日～6月11日である。配布枚数、回収数、回収率については以下のとおりである。

	保護者		通室生	
	配布数	回収数（回収率）	配布数	回収数
城山	35	23(65.7%)	37	22(59.5%)
尾山台	20	11(55.0%)	20	10(50.0%)
希望丘	58	46(79.3%)	60	38(63.3%)

通室生へのアンケートは、回答者の属性に関する設問が5問、施設運営に関する内容が16問と自由記述である。

保護者へのアンケートは、お子さんの属性に関する設問が5問、施設運営に関する設問Aが14問、通室後のお子さん（通室生）の様子や変化についての設問Bが4問と自由記述である。複数の

お子さんがほっとスクールに通室している場合、お子さんの属性及び設問Bについては、お子さんごとの回答となっている。

3. 第三者評価による分析・評価

(1) 評価項目

評価項目は、大項目として組織的なマネジメント分野（評価対象Ⅰ～Ⅲ）と支援活動のプロセスに関する分野（A活動に関する事項）の4つにカテゴリー区分し、さらに中項目として15のカテゴリーに区分し、全体で43の評価項目となっている。

【評価項目の体系】

大項目	中項目	評価項目数
評価対象Ⅰ 施設運営の基本方針と組織	I-1 理念・方針	2
	I-2 計画の策定	2
評価対象Ⅱ 組織の運営管理	Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ	2
	Ⅱ-2 人材の確保・育成	4
	Ⅱ-3 安全管理	2
	Ⅱ-4 地域や関係諸機関との交流や連携	2
評価対象Ⅲ 適切な支援の実施	Ⅲ-1 児童・生徒本位の支援	6
	Ⅲ-2 支援の質の確保	2
	Ⅲ-3 支援の開始・継続	2
	Ⅲ-4 活動実施計画の策定	2
A 活動に関する事項	A-1 活動の環境整備	4
	A-2 児童・生徒への対応（核となる活動）	6
	A-3 児童・生徒や保護者からの相談への対応	5
	A-4 地域社会との取組み	1
	A-5 広報活動	1

(2) 評価の実施

① 自己評価

各評価項目に対する実施状況について、施設のスタッフ一人ひとりに自己評価用紙を配布し、自己評価を行ってもらい、郵送で回収した。

② 訪問調査

アンケート集計結果及び自己評価結果を参考にして、評価員 2 名が各施設の訪問調査を行った。

(ア) 施設での目視による確認

(イ) 管理運営における文書類及び運用記録等記録類

評価期間は、令和 2 年度から訪問調査の実施日までとしたが、取組みの一部については令和元年度以前の実施状況を参考とした。

(ウ) スタッフへのヒアリング

運営の状況や取組内容については、教育支援嘱託員（城山・尾山台）や施設責任者（希望丘）、一般のスタッフに対して、上記の（ア）（イ）の内容及び自己評価の結果を踏まえてヒアリングを行った。

尚、各施設における訪問日は、以下の通りである。

- ・城山 令和 3 年 6 月 29 日(火)
- ・尾山台 令和 3 年 6 月 24 日(木)
- ・希望丘 令和 3 年 7 月 2 日(金)

③ 評価結果の記述

アンケート調査、自己評価及び訪問調査の結果を総合的に判断し、各評価項目に対する評価結果を中項目ごとにまとめて記載をした。併せて各評価項目に対し、下記の基準で評価結果を示した。

- A 適切に実施している
- B 実施しているが一部不十分な点がある
- C 不備があり十分に実施しているといえない

最後に、各評価項目を取りまとめ、大項目ごとに「第三者評価の総括」を記述している。